



第7回世界水フォーラムサイドイベント

# シンプル・低価格技術の活用による非都市地域の 水課題の解決



Solution for water challenges of non-urban area  
with simple and low-cost technologies  
(SE0089)

2015年4月15日 11:20~13:20

大邱会場 (KOREA ファッションセンターDFC\_101)

主催：特定非営利活動法人日本水フォーラム、シンプル・低価格技術研究会

後援：ADB, JICA, JETRO、UNDP

スポンサー：民間企業他



Daegu EXCO and Korea Fashion Center



## 1. 開催趣旨

国連の報告（2014年版）によると、1990年以降多くの国（調査対象116カ国中87カ国）において都市と農村の格差が減少しているとされているが、地球上で安全な水に浴さない7億4800万人の内、6億7300万人が農村部に住んでいると見込まれている。都市においては、大規模な事業や投資が導入されやすいのに対して、非都市域はこうした取り組みから取り残されがちであり、都市との格差は拡大する一方である。

このような状況の中で、非都市域での対策を促進するためには、できるだけ安価で維持管理の容易なシンプル・低価格技術の活用が必要である。飲料水、廃水処理、廃棄物処理分野での適用が有

望視されるシンプル低価格技術を取り上げ、特に非都市地域の課題解決への効果を検証するとともに、今後の取り組みの方向と推進方策を明らかにする。

注：シンプル・低価格技術研究会は一般社団法人名古屋環未来研究所（代表山田雅雄）が中心となって、この行事の開催のために、サイドイベントへの参加団体、企業とともに設けたものである。

2. 詳細企画内容（全体で 120 分）：

（敬称略）

オープニング挨拶	山田雅雄	シンプル低コスト技術研究会代表	
キーノートスピーチ：非都市地域の課題とシンプル・低価格技術による取り組みの必要性	山村尊房	日本水フォーラム	
事例報告 1：BioSandFilter による飲料水対策	T.K.K. Ngai	CAWST – Centre for Affordable Water and Sanitation Technology, Canada	
事例報告 2：上向流式生物接触ろ過設備による飲料水対策	原口公子	北九州市上下水道協会	
事例報告 3: バイオメッシュ利用の排水処理対策	飯田克己	活水プラント(株)	
事例報告 4: エコサニテーションによる排泄物対策	高橋邦夫	日本下水文化研究会 (JADE)	
事例報告 5: アフリカのサヘル地域での水と衛生の改善：ブルキナファソの事例	船水尚行	北海道大学大学院	
休憩			



パネルディスカッション：

「これまでの取組のプライオリティは何か、今後何に力を注ぐか。このセッションからのメッセージを誰に伝えたいか。」

speakers and experts, 司会 ムハンディキ・ビクター



JADE は酒井彰代表がパネリストとして参加

総括	ムハンディキ・ビクター	名古屋大学大学院特任教授	
閉会挨拶	竹村公太郎	日本水フォーラム事務局長	

連絡先 山村尊房, W&E Research Institute, Tokyo, Japan [weri2013@sj9.so-net.ne.jp](mailto:weri2013@sj9.so-net.ne.jp)